

国立がん研究センターがん対策情報センター がん統計研究部 地域がん登録室便り

● 松田 智大 松田 彩子

国立がん研究センターがん対策情報センター がん統計研究部



寒いです。本当に寒いです。でも「そんなのは冬の寒さじゃない」というお叱りが北の方から聞こえてきそうですので、控えめに。季節の変化にも環境の変化にも大騒ぎせず、対処していくのが大切ですね。

1 | がん登録の標準化

標準システム利用地域は2012年、更に大きく拡大し、北海道、青森、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、新潟、東京、埼玉、石川、福井、山梨、長野、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、島根、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、熊本、大分、鹿児島、沖縄の37/47地域で稼働しており、来年度には更に宮城、宮崎で導入が予定されています。地域がん登録の法制化が具体化していますが、こうした下地が推進要素となっていることは明らかで、会員の皆様方、導入と運用をサポートして下さっている先生方に厚く御礼申し上げます。

2 | 地域がん登録行政担当者・実務者講習会の開催

今年度も、12月11日～12日の日程で地域がん登録行政担当者・実務者講習会を開催し、130名の参加がありました。昨年度のカリキュラムに、死亡票からのがん罹患把握の講義を追加し、2日目の選択演習を継続して、コーディング演習、集約、統計実習のコースを設定しました。来年度は今年度の研修体制を維持し、再来年度以降は地域がん登録の社会的な位置づけを注視しながら、研修のあり方を検討、地域がん登録全国協議会との連携も模索していきたいと思っています。



3 | 全国がん罹患モニタリング集計の実施

研究班活動として、事業実施38道府県を対象に、全国がん罹患モニタリング集計(MCIJ2008)のデータ提出依頼をし、2003-2005年生存率算出を含めて、データの集計作業を進めています。1の標準化に加え、近年の精度向上も著しく、精度が悪いので、という注釈をつける時代にそろそろお別れできそうです。

4 | 平成24年度第2回地域がん登録事業会議

(第3次対がん「がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究」班報告会)

例年通り、地域がん登録事業会議を2月13-14日にがん研究振興財団国際研究交流会館にて開催する予定です。研究班での今年度の成果を皆様にご報告するとともに、各県での事業実施の様子を伺う機会としたいと思います。懇親会も企画致しますので、ぜひご参加ください。

私たちの活動にご協力ください

賛助会員(個人・団体)を 随時募集しています

賛助会員

個人…年間 5,000円

団体1口…年間50,000円(1口以上)

主な事業内容

- がん登録に関する学術集会、セミナー等の開催
- 地域がん登録に関する様々な情報の提供
- がん統計、がん登録に関する調査や研究の実施
- 国際がん登録協議会(IACR)への参加・協力
- がん登録に携わる人材の育成やサポート
- 地域がん登録室の安全管理措置に関する活動
- 地域がん登録の広報媒体、冊子、教材、資料等の発行

寄付金も受け付けています

入会のお申込みや寄付等のお問い合わせはウェブサイトの「お問合せ」よりお知らせください